

エイジング社会の教養科目群

科目コード	OG212	科目名	歴史の中の学校教育		科目群	第1群
担当者	前田 一男 (マエダ カズオ)					
開講日程・時限	夏期集中9月11日、12日、13日(10:00~17:00)	授業方式	対面	単位数	2単位	
備考	履修人数制限なし					
授業の目標	近世日本の教育から敗戦直後までを対象にしながら、特に戦時期に焦点を当てながら、現在の学校が、近代日本の歴史的な展開の上に成り立っていることを理解し、教育を歴史的に考察する見方や考え方を学んでいきたい。					
授業の内容	当たり前のように通っている「学校」が、近代社会のなかで学校がどのように作られてきたのか、その役割と機能とは何であったのかを、歴史的に跡づけながら、さまざまな教育問題を突きつけられている「教育の現在」を確認していきたい。教育理念と学校制度の展開の視点において近代学校教育を考察し、とりわけ大正自由教育から戦時下の教育への変遷については、現代の戦争を意識しながら、受講者とともに考えていきたい。					
授業計画	<p>第1日 第1回 ガイダンスとこの授業のねらい 第2回 近代教育 150年の通史的理解 第3回 近世の教育―特に手習塾(寺子屋)に注目して 第4回 明治初年の教育―近代化への始動 第5回 国民統合と「知」の配分―教育勅語の発布―</p> <p>第2日 第6回 国民統合の動揺と再編成―教育理念の展開― 第7回 学問と教育の関係史(1)―初代文部大臣・森有礼の役割― 第8回 学問と教育の関係史(2)―南北朝正閏問題の意味― 第9回 近代学校の成立とその歴史的 성격 第10回 近代学校批判の展開(1)―大正自由教育の試み―</p> <p>第3日 第11回 近代学校批判の展開(2)―自由学園を中心に― 第12回 立教大学野球部と戦争への道 第13回 総力戦体制と教育―錬成教育と一人の教師のあゆみ― 第14回 敗戦と教育―戦争孤児の戦後史― *自由学園の明日館に施設見学に行く予定。</p>					
成績評価方法	平常点による評価					
講義中に直接使用する教科書	その都度、授業内容に即したプリントを配布するので、特に指定しない。					
上記教科書以外の参考図書	寺崎・前田編、1993、『日本の教師 歴史の中の教師Ⅱ』、ぎょうせい。 片桐・木村編、2017、『教育から見る日本の社会と歴史』、八千代出版。					
その他 (HP 等)						